

# 年間授業計画【新様式】

高等学校令和5年度（1学年用）教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：石井 淳也 須知 結太郎

使用教科書：（「現代の国語」（大修館書店））

教科 国語 の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・劇	書	読					
1 明日をひらく 「白紙」 「考える技術—考えさせない時代に抗して」	・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	○	○	○	10
2 要点をつかむ ・文章の要点をつかむ 「水の東西」 「『動』への変化」	・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果				【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとりえようとしている。	○	○	○	10
中間考査						○	○		1
3 的確に伝える ・伝わるように話す ・わかりやすく書く  4 意見を示す ・発想を広げる ・意見を書く	・文の成分 ・指示語 ・接続語 ・具体と抽象 ・主張とその理由 ・類比・対比・因果				【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 ・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 ・目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んで話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえて、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・説明を書くことを通して、材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。  【知識・技能】 ・出されたアイディアのそれぞれの関係を理解している。 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 【思考・判断・表現】 ・様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。 ・論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい	○	○	○	10

1 学期



2 学 期	<p>9 情報を比較する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を比較して読む</li> <li>『美しさの発見』について</li> </ul> <p>10 他者を動かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説得力のある資料をつくる</li> <li>資料を用いて発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。</li> </ul> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>話し言葉の特徴や役割をふまえ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した言葉遣いで話している。</li> <li>話の効果的な組み立て方や接続のしかたについて、理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。</li> <li>聞き手の行動の変容を促すために、相手の反応を予想しながら、話の展開や構成を工夫して伝えている。</li> <li>提示する情報を取捨しながら資料を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。</li> <li>熱意をもって自分の考えを伝えるために、話の展開や構成を工夫したり、効果的に資料を用いたりしようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	10
	<p>11 主張を吟味する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠を吟味して読む</li> <li>「贅沢を取り戻す」</li> <li>「言葉についての新しい認識」</li> <li>文章を読み取って主張を書く</li> <li>討論をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。</li> <li>読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。</li> <li>情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> <li>読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。</li> <li>自分の考えが明確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。</li> <li>意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。</li> <li>自分や相手の主張や根拠、理由づけの妥当性を確かめる方法を理解し、積極的に使おうとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	9
	期末考査				○ ○	1
	<p>12 考えを発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に読む</li> <li>「白」</li> <li>「作業ロボットの悲劇」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文の成分</li> <li>指示語</li> <li>接続語</li> <li>具体と抽象</li> <li>主張とその理由</li> <li>類比・対比・因果</li> </ul>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	12
	13 考えを発信する	文の成分		【知識・技能】		

